

# はやぶさ2のカプセル到着

## JAXA 小惑星試料詳細分析へ



JAXAの相模原キャンパスに到着しトラックから運び出される、はやぶさ2のカプセルが入った輸送用コンテナ=8日午前、相模原市

宇宙航空研究開発機構「はやぶさ2」が投下した回収（JAXA）の探査機「はやぶさ2」が8日午前、日本

に到着した。落下地点のオーストラリアから空路で羽田空港に輸送され、その後、JAXAの相模原キャンパス（相模原市）に自動車で搬送された。カプセルには

**小惑星** 太陽の周りを回る小天体。主に火星と木星の間にある小惑星帯に集まっているほか、木星の軌道上にも存在する。大きく成長しきれなかったものや、いったん成長したものの破壊されて破片となったものが起源とみられ、中には直径十

小惑星りゅうぐうから採取した試料が入っているとみられ、6年間に及ぶ探査の成果について本格的な分析が始まる。

JAXAは同日午後12時の記者会見で現状を説明した。計画責任者の津田雄一教授は搬入後、報道陣に「他の星に行つて帰つてきたのが今も目の前にある。本当に夢みたいな話」とコメント。カプセルを投下し、別の小惑星探査に旅

近くになる巨大な小惑星もある。46億年前に太陽系ができたとの痕跡が残っていると考えられ、「太陽系の化石」ともいわれる。探査機はやぶさ2が訪れた小惑星りゅうぐうには、生命に欠かせない水や炭素を含んだ鉱物があるとみられている。

立ったはやぶさ2を「お使いを全部終わらせて帰ってきてくれた。本当によく頑張ってくれた」とねぎらった。

はやぶさ2から放出されたカプセルは6日未明、オーストラリア南部の砂漠に着地した。現地で簡易的な分析を実施した結果、ガスを検出することに成功。りゅうぐうに由来するガスの可能性がある。

カプセルの中には試料が入った容器があり、ガスも持ち帰れるようにシールで密閉している。JAXAは専用施設を使い、外部からの汚染を防ぐために真空状態で開封。試料を

12月8日(火)

神戸新聞夕刊分

完全失敗か?と思わせた中 スタッフを含め、いせ中心に関係者の願い、熱い想いが 本当に一本の希望の糸をもたらした 前回ははやぶさ2でした。

そこから得た多くの勇気、教訓を併せてはやぶさ2は夢を届けそして再び旅立つという強さを身につけました。

人生も同じ。無駄も失敗もない。自分がそう決められることがなければ。